

川口村の歴史 高木秋生さん宅にて

金清八、栢島浩一、高木新作、蒲田先生川口に朴木の門徒は10件ほどあるがで宮袋には朴木屋、朴木言うとは朴木から出たからついた覚円寺、覚正寺も世代交代があった。継職式

木造の由来、茶のん話ですか金正夫さん

河川敷の開墾のがで永田浩一郎さんが村長さんの時に河川敷を県に使わせてくれと申請したそうしたら許可しがたしと言う文章が義之助さんとこにあるがいちゃ、知事から来たのが、その後大正になって開墾してもよろしいと言う文書がどこかにあるはずだけどね。おそらく00げんべいさにあるがかなーと思ったりしとったがいけど恒明さんと所の家県から許可すると言うのがあるがあるはずです。恒明さんに一回、聞いたことあるね。

その行方について、移民の問題ちらっと出とる、このことについて地主小作の移住が検討された両村あげての大問題になった。この時全村北海道への移住の計画を樹てられたが挫折した。しかしその結果的に土地あまりな土地に奪われやむなくそれぞれ他県開拓農場へ離村して行った。

北海道へ行った人が何人かいるはずやね。これは、動員規制同盟会の文ながいちゃね。おらとこも（金さんの親も）行こうか言うた。

山崎先生この資料については北さんからもらっている。高井さんの地面のこつとる北海道へは、川口で4人位でなかろうかね。稲積文策さんのおじさんと、川口、宮袋離村者43戸数砺波の小作者が多かった伏木港より汽船で新天地、函館、小樽まで12日かかり運賃

山崎先生 そしたら砺波の移民者と一緒になっていったもんやね。砺波からいっぱい行ったがいねそう言う関係かね。

金さんそのときが ちょうど川口の売薬の始まりにも・・・おら百姓一生懸命やとった時は中曽根境、あんたらも聞いとらんけあこが一番肥えておったもんやて、イワンバと言うところが二番割り（牧野境）湿田の所（今こないだから掘ってみてなんやらあがったとかあがらんとかと言うところ）一番割りのところが庄川の下にあった。

そのころは百姓は作らんもんは食べられなんだ、一番いいところとられてしまったもんやから口があがってしまったもんやから、うちの爺はブラジル移民を考えていた。金さんの本家からあらべした時に栢島番 そこになんかあったもんやちゃね栢島の先祖がそこであらべしたときに反段もらってきたところがこんどサンザイサが本家で財産をすべて半分に割ってこの先祖が宮の背戸へあらべされた。・・・金家は石瀬の紋 花火師、？

金のあこで出た阿弥陀如来の仏像がでとちゅうのが市史にのっとらんがやちゃそれがここんところにあるがいちゃ。院内ちゅ所から（稲積の床屋の後ろのどこやらからから出た）現在もある。市の文化財にしてもいいものがある。吉田実さんが鑑定してこれが何百年前のもんやちゅ鑑定をくだいとるもんやちゃ（珠洲焼き阿弥陀如来か？）

丈は3寸位（金堂仏か？）それはどこからでたがけ、金ちょうえいもんちゅ百姓の所の院内ちゅ所（お寺の境内やちゅことかいねおそらく思われる）そこに畑があった、そこは院内畑があったそこにどろを盛ってって高いところがあったもんやちゃ昔は（住居跡）遺跡かね。そこを耕いとったら桑の先にカンと言う音がしたとそしてなにかと思つて掘り上げ

てみたら今現家にありますは瓶は前に出ておる仏様が瓶の中に入っていた。かめは床の間に置いてある。お金も入っていた所がいま全然親戚つきあいしとらんけどそのチョウエイモンと言うもののおっかちゃんが宮袋の森本太兵、砺波からおかみ来とった。

森本の家へ瓶と入っていたお金もを持っていったわけ最後殺されてしもうた。いつごろ掘ったもんやね、それがわからない。金さんには二次面接

院内とのつながりどうしてそこにあったか。報土寺には大伽藍とのつながり川口の川口地内の中で一番大きいがちゃ射水衛生の始動伽藍があった院内はその末寺があったがでな
いかお寺関係のがでさがいていかなどうしょうもない。月光寺とどんな関係があったかそれがわからん。覚正寺が本当に月光寺だったか由緒書きには書いてあるけどちょっと疑問もある。月光寺と坂東の宮と何か関わりがあると聞いておるがいけど

宮下さんが書かしたもの・・・・・・・・・・円徳寺へ仏像が行っていたまた明治30年に金さんに戻ってきた・・・・・・・・月光寺と坂東の寺の関係も出てくるかも金剛仏800年前坪450年前・・・・・・・・